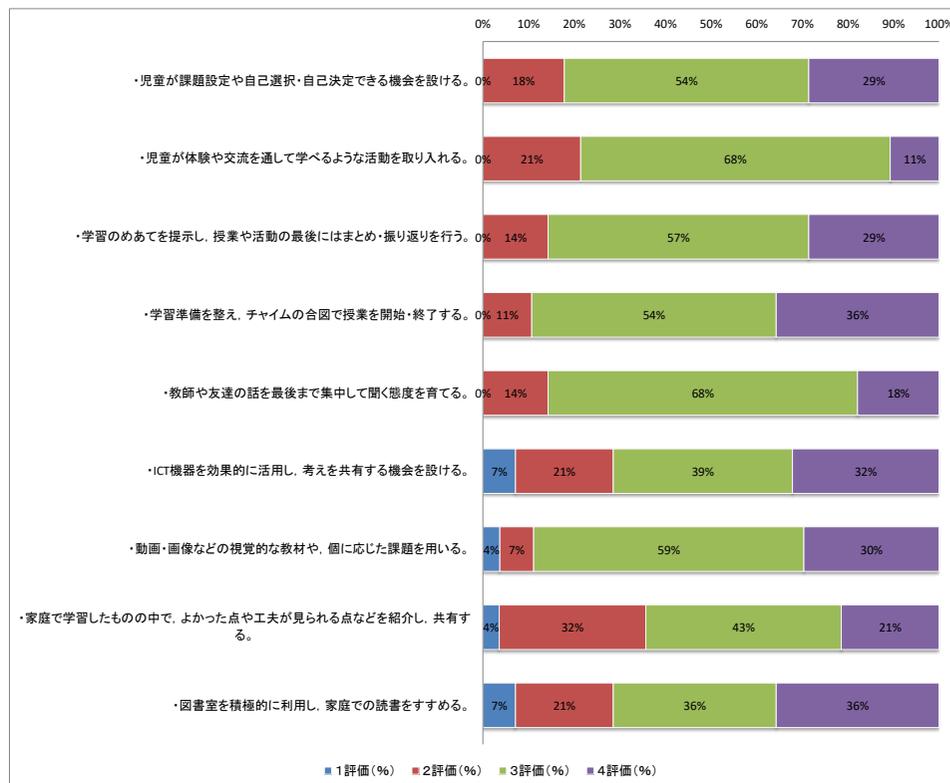


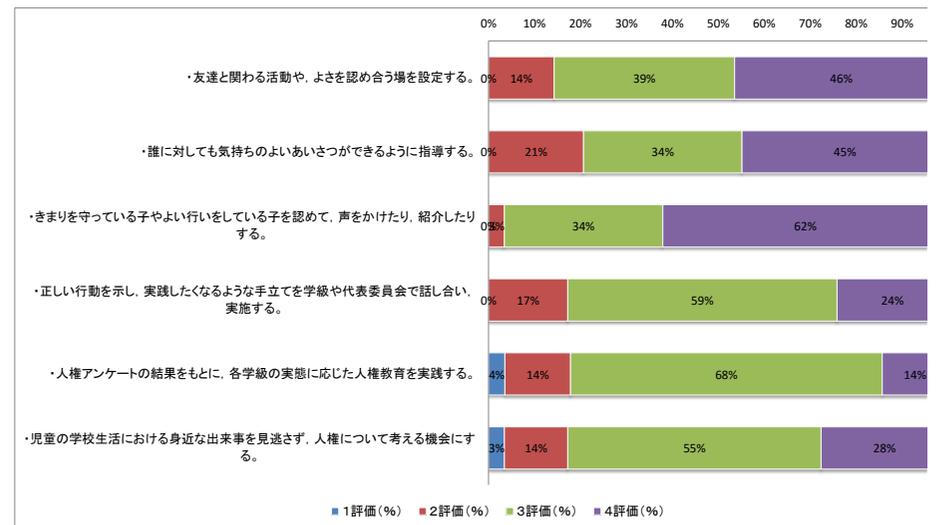
①確かな学力を身につけた子どもの育成

	具体的取り組み事項	1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
子どもが主体的に学ぶ楽しい授業の工夫	・児童が課題設定や自己選択・自己決定できる機会を設ける。	0%	18%	54%	29%	18%	82%
	・児童が体験や交流を通して学べるような活動を取り入れる。	0%	21%	68%	11%	21%	79%
明確な学習課題に基づいたよく分かる授業の工夫	・学習のめあてを提示し、授業や活動の最後にはまとめ・振り返りを行う。	0%	14%	57%	29%	14%	86%
	・学習準備を整え、チャイムの合図で授業を開始・終了する。	0%	11%	54%	36%	11%	89%
	・教師や友達の話最後まで集中して聞く態度を育てる。	0%	14%	68%	18%	14%	86%
ICTを活用した効果的な指導	・ICT機器を効果的に活用し、考えを共有する機会を設ける。	7%	21%	39%	32%	29%	71%
	・動画・画像などの視覚的な教材や、個に応じた課題を用いる。	4%	7%	59%	30%	11%	89%
家庭学習の習慣化	・家庭で学習したものの中で、よかった点や工夫が見られる点などを紹介し、共有する。	4%	32%	43%	21%	36%	64%
	・図書室を積極的に利用し、家庭での読書をすすめる。	7%	21%	36%	36%	29%	71%



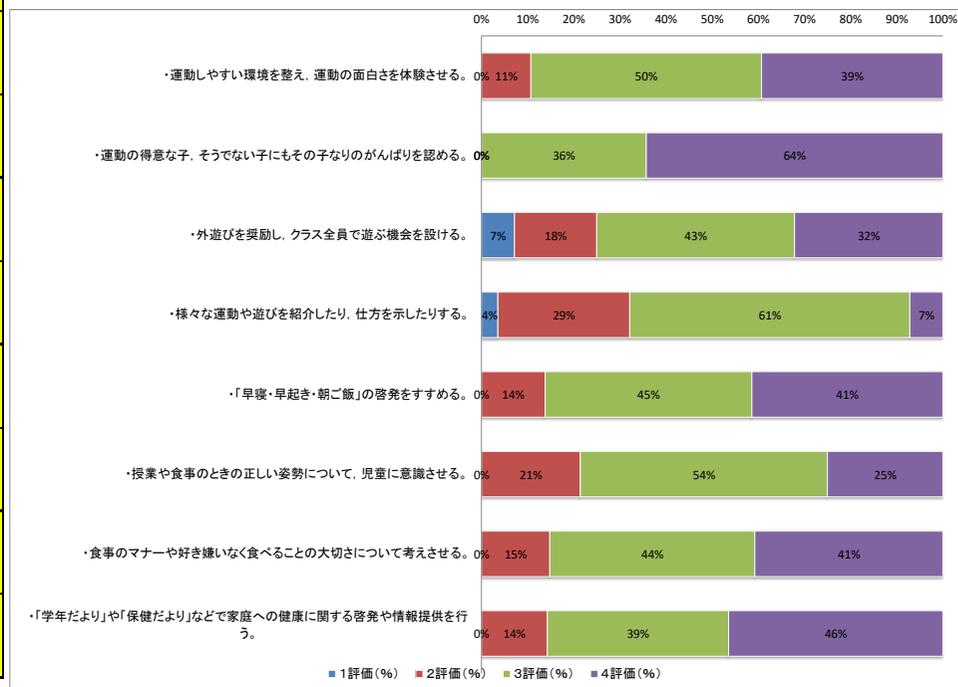
②豊かな心で助け合える子どもの育成

	具体的取り組み事項	1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
自分も他の人も大切に、互いを認め合える人間関係づくり	・友達と関わる活動や、よさを認め合う場を設定する。	0%	14%	39%	46%	14%	86%
	・誰に対しても気持ちのよいあいさつができるように指導する。	0%	21%	34%	45%	21%	79%
善悪を判断し、正しく行動する力の育成	・きまりを守っている子やよい行いをしている子を認めて、声をかけたり、紹介したりする。	0%	3%	34%	62%	3%	97%
	・正しい行動を示し、実践したくなるような手立てを学級や代表委員会で話し合い、実施する。	0%	17%	59%	24%	17%	83%
人権感覚・人権尊重の精神の涵養	・人権アンケートの結果をもとに、各学級の実態に応じた人権教育を実践する。	4%	14%	68%	14%	18%	82%
	・児童の学校生活における身近な出来事を見逃さず、人権について考える機会にする。	3%	14%	55%	28%	17%	83%



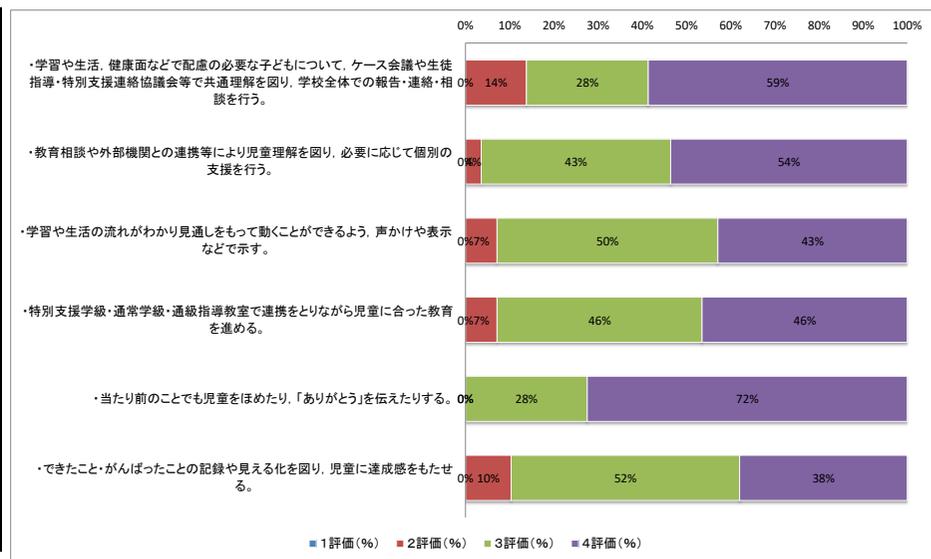
③健やかで、たくましい子どもの育成

③健やかで、たくましい子どもの育成		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
具体的取り組み事項							
運動のおもしろさを感じる体育授業の工夫	・運動しやすい環境を整え、運動の面白さを体験させる。	0%	11%	50%	39%	11%	89%
	・運動の得意な子、そうでない子にもその子なりのがんばりを認める。	0%	0%	36%	64%	0%	100%
運動習慣づくり	・外遊びを奨励し、クラス全員で遊ぶ機会を設ける。	7%	18%	43%	32%	25%	75%
	・様々な運動や遊びを紹介したり、仕方を示したりする。	4%	29%	61%	7%	32%	68%
基本的生活習慣の育成	・「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発をすすめる。	0%	14%	45%	41%	14%	86%
	・授業や食事のときの正しい姿勢について、児童に意識させる。	0%	21%	54%	25%	21%	79%
保健・食育の充実	・食事のマナーや好き嫌いをなく食べることの大切さについて考えさせる。	0%	15%	44%	41%	15%	85%
	・「学年だより」や「保健だより」などで家庭への健康に関する啓発や情報提供を行う。	0%	14%	39%	46%	14%	86%



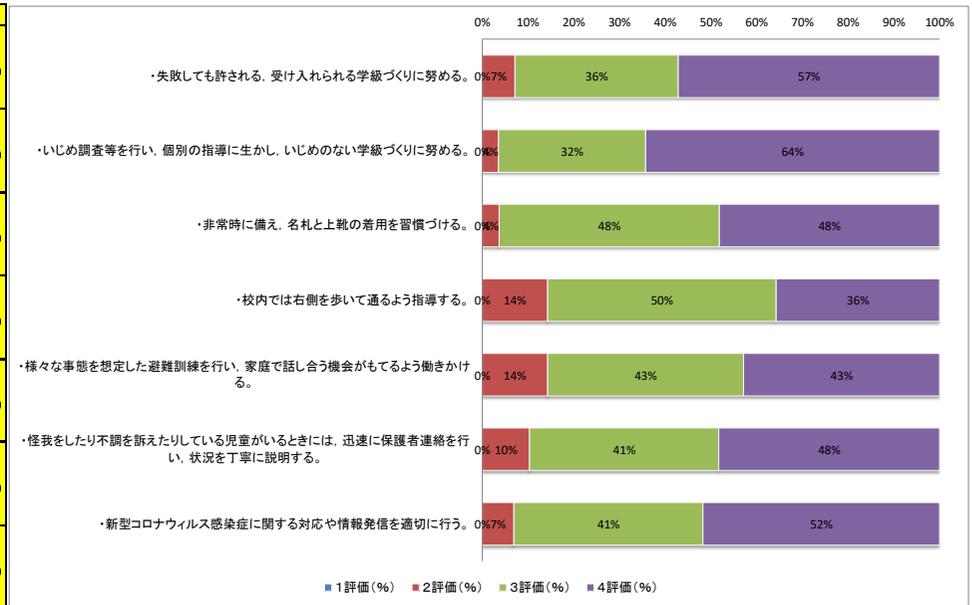
④一人一人を大切にす指導

具体的取り組み事項		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
積極的で組織的な児童理解と一人一人の実態に応じた指導の工夫	・学習や生活、健康面などで配慮の必要な子どもについて、ケース会議や生徒指導・特別支援連絡協議会等で共通理解を図り、学校全体での報告・連絡・相談を行う。	0%	14%	28%	59%	14%	86%
	・教育相談や外部機関との連携等により児童理解を図り、必要に応じて個別の支援を行う。	0%	4%	43%	54%	4%	96%
特別支援教育(インクルーシブ)の充実	・学習や生活の流れがわかり見通しをもって動くことができるよう、声かけや表示などで示す。	0%	7%	50%	43%	7%	93%
	・特別支援学級・通常学級・通級指導教室で連携をとりながら児童に合った教育を進める。	0%	7%	46%	46%	7%	93%
一人一人に応じたPBSとキャリアパスポートの活用	・当たり前のことでも児童をほめたり、「ありがとう」を伝えたりする。	0%	0%	28%	72%	0%	100%
	・できたこと・がんばったことの記録や見える化を図り、児童に達成感をもたせる。	0%	10%	52%	38%	10%	90%



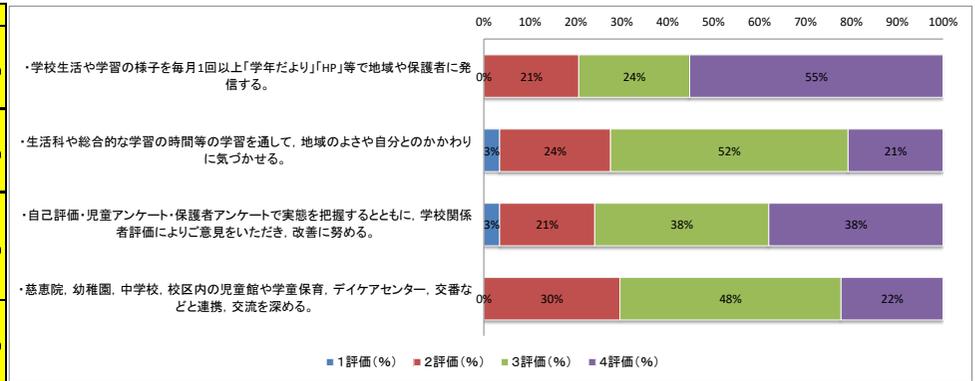
⑤安心・安全な学校づくり

具体的取り組み事項		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
安心して過ごせる学級づくり	・失敗しても許される, 受け入れられる学級づくりに努める。	0%	7%	36%	57%	7%	93%
	・いじめ調査等を行い, 個別の指導に生かし, いじめのない学級づくりに努める。	0%	4%	32%	64%	4%	96%
校内の安全管理の徹底	・非常時に備え, 名札と上靴の着用を習慣づける。	0%	4%	48%	48%	4%	96%
	・校内では右側を歩いて通るよう指導する。	0%	14%	50%	36%	14%	86%
防災意識の高揚と避難行動の徹底	・様々な事態を想定した避難訓練を行い, 家庭で話し合う機会がもてるよう働きかける。	0%	14%	43%	43%	14%	86%
病気・怪我・アレルギーなどの丁寧な対応	・怪我をしたり不調を訴えたりしている児童がいるときには, 迅速に保護者連絡を行い, 状況を丁寧に説明する。	0%	10%	41%	48%	10%	90%
	・新型コロナウイルス感染症に関する対応や情報発信を適切に行う。	0%	7%	41%	52%	7%	93%



⑥保護者・地域等と協力・連携した学校づくり

		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
積極的な教育活動の公開や情報発信		具体的取り組み事項					
	・学校生活や学習の様子を毎月1回以上「学年だより」「HP」等で地域や保護者に発信する。	0%	21%	24%	55%	21%	79%
地域に根ざした教育活動の推進	・生活科や総合的な学習の時間等の学習を通して、地域のよさや自分とのかかわりに気づかせる。	3%	24%	52%	21%	28%	72%
保護者・地域の声を大切にしたい学校づくり	・自己評価・児童アンケート・保護者アンケートで実態を把握するとともに、学校関係者評価によりご意見をいただき、改善に努める。	3%	21%	38%	38%	24%	76%
	・慈恵院、幼稚園、中学校、校区内の児童館や学童保育、デイケアセンター、交番などと連携、交流を深める。	0%	30%	48%	22%	30%	70%



⑦効率的で働きやすい職場づくり

	具体的取り組み事項	1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
グループウェアを使った情報共有の効率化	・STORKを用いて情報共有を図り、毎日見る。	0%	0%	18%	82%	0%	100%
「チーム福島」を意識した助け合う職場づくりと、チャレンジ精神によるやりがいづくり	・互いの教室などを気軽に訪問し合い、自分からいろいろな先生方に声をかける。	0%	14%	43%	43%	14%	86%
	・それぞれの個性や得意なことを生かした公開授業をするなど、学び合う機会をもつ。	3%	28%	31%	38%	31%	69%
ワークライフバランスを考えた超過勤務時間の改善	・優先順位を決めて、業務を精選する。	0%	17%	59%	24%	17%	83%
	・週に一度はノー残業デーを意識し、退勤時刻を宣言するなどしてなるべく早く帰る。	28%	21%	31%	21%	48%	52%

